

## <浜辺の歌>

あした浜(はま)辺(べ)を さまよえば  
昔(むかし)のことぞ 偲(しの)ばるる  
風(かぜ)の音(おと)よ 雲(くも)のさまよ  
寄(よ)する波(なみ)も 貝(かい)の色(いろ)も  
ゆうべ浜(はま)辺(べ)を  
もとおれば  
昔(むかし)の人(ひと)ぞ 偲(しの)ばるる  
寄(よ)する波(なみ)よ かえす波(なみ)よ  
月(つき)の色(いろ)も 星(ほし)のかけも  
疾風(はやち)たちまち 波(なみ)を吹(ふ)き  
赤(あか)裳(も)のすそぞ  
ぬれもせじ  
病(や)みし我(われ)は  
すべていえて  
浜(はま)辺(べ)の真(ま)砂(さご)  
まなごいまは